

平成 26 年度高教研学校図書館部会  
備前支部協議会司書部会研修会（第 4 回）

日時：平成 26 年 12 月 8 日（月）10:00～16:00

会場：岡山県立倉敷工業高等学校 会議室

1. 開会

2. 研修「パスファインダー」（10:00～11:40） ※美作支部との合同研修

- |                                |                  |
|--------------------------------|------------------|
| (1) 基本事項説明／事例説明（東商・神田司書）／実習の説明 | 10:10～10:30（20分） |
| (2) パスファインダー実習                 | 10:30～11:25（55分） |
| (3) 情報交換（1班2, 3分程度×6班）         | 11:25～11:40（15分） |

●パスファインダーをつくろう●

1. パスファインダーについて

- ・「パスファインダー」という言葉を知っている人 or 知らない人 or 知っているが作ったことや使ったことがない人（挙手）
- ・パスファインダーとは、特定のテーマに関連する資料の探し方をコンパクトにまとめた印刷物である。
- ・マサチューセツ工科大学図書館が 45 年ほど前に考案。
- ・図書館でのレファレンスはいつも均一のできる時ばかりではない。（司書の経験年数や図書館の混み具合などによっても違って来る。）
- ・パスファインダーのメリットとして…
  - ・知的探究心のバックアップ
    - ・デジタル辞書だとその言葉のみが出てくるが、アナログ情報も出てくるので、利用者の視野が広がるし、考える力もつく。
    - ・自分で調べるツールを用意しておくことで、自力で調べる力がつく。
    - ・均一レベルの情報提供が可能になる。（1対40や1対300では同じサービスができないが、パスファインダーだと可能になる。）
    - ・自校図書館にそのテーマの資料がどれくらいあるか、司書目で蔵書構成の点検ができる。資料収集のスキルアップにもつながる。

- ・ Web 版のパスファインダーもある。(国立国会図書館リサーチ・ナビやパスファインダーデータベースなど)

## 2. 岡山東商業高校での実践

10年ほど前に実践したことがある。通常の調べ学習だと、県立図書館と自校図書館の資料でコーナー作りをし、対応している。1学年が300人くらいいるので、本の場所を分かりやすくするため、一か所にまとめている。この時は、生徒が使った本を元に戻せるかどうか不安だったので、パスファインダーを作ることができなかった。

ある時、司書教諭からパスファインダーのことを紹介され、作ってみることにした。ユニバーサルデザインについて、職員向けの図書館だよりに載せてみたところ、先生側から生徒を図書館に調べに行かせるという話が出たが、300人以上の生徒が一度に来館しても困るため、パスファインダーを使おうと考えた。その時の調べ学習では、パスファインダーを活用して、生徒が自分で資料を探して持っていくという姿が見てとれた。

パスファインダーを使ってみた感想としては、実際に生徒が図書館で資料を探せるかどうかを念頭に置いて作るべきだと思った。その時の調べ学習は「起業と進路」というテーマだったが、NPOに関連する資料が少なかったため、その後買い足すこともできた。資料を探す際、書名にテーマになっている言葉が載っていないと探すことができない生徒が多かったため、パスファインダーがとても有効だった。

## 3. 実習「パスファインダーをつくろう」

\*ワークシート ～誰に・何を～

- ・そもそもパスファインダーとは？というものと、調べ学習のテーマを中心に書くものがある。
- ・まず調べるにあたって何を見ればよいか？キーワードから参考資料を挙げる。
- ・テーマに関連するキーワードが最も重要である。パスファインダーにどんなキーワードがあったらよいか、またそのキーワードがどんな分類に入るか？
- ・本を探そう～図書館マップから～  
→高校生向けにパスファインダーを作るには、ビジュアル的な部分がないと見てもらえない傾向がある。資料に吹き出しも有効的である。
- ・本を探そう～検索端末から～  
→検索パソコンの存在を知らない生徒もいるので、館内のパソコンでも検索できるというアピールを！  
→具体的な書名を挙げると分かりやすい。  
→ある資料を全て載せる必要はない。分類が違うものを1～2冊ずつ載せるのがベスト。

「ほんの一例です」という補足説明を入れると良い。

- ・新聞の見出しをスマホで検索する。
- ・新聞や雑誌を探そう  
→この雑誌には載っているというタイトルを挙げる。
- ・役立つ HP  
→有効なサイトを紹介する。
- ・公共図書館へのご案内  
→県立図書館の紹介も必要。
- ・自校の生徒が本や情報にたどり着くために、その他の手段もあれば挙げておく。

\*レイアウト ～どのように～

- ・集めた素材をどのようにレイアウトするか？提供の仕方を考える。

☆6つの小グループに分かれて研修

(テーマ：介護・福祉，地球温暖化，大学調べ，食糧事情，百人一首，遺伝子組み換え)

#### 4. 情報交換・グループ報告

- ・各グループでそれぞれのテーマについて話し合いの後、レイアウトを完成させ、最後に順番に発表する。(実際のレイアウトは前のホワイトボードに展示する。)

### 3. プチ紹介（岡山操山・岡山城東・就実）（11:40～12:10）

\*岡山操山

- ・今年 115 周年を迎える。平成 13 年度に中学校を併設。中学校 9 クラス、高校 21 クラスで合計 831 名。蔵書数 58,000 冊。(中学校は別室に 7,500 冊) 図書の購入における中・高の連携はない。図書委員会は広報係と展示係が活動。カウンター当番は全員。図書館システムを変更。コーナー作りや展示に力を入れている。

\*岡山城東

- ・平成 19 年度に単位制に移行。今年度より SHG（スーパーグローバルハイスクール）に認定。数年計画で、図書委員を中心に、全蔵書にブックカバーをかけている。5 月の読書会は図書委員会の親睦会を兼ねている。6 月の留学生を囲む会は、放課後 30～40 分で行い、分担に当たった図書委員（5 人程度）は必ず参加する。(その他、一般生徒は 20 名くらいが参加) 9 月の翠緑祭 (=文化祭) では、全校生徒にブックカバーをデザインしてもらった。約 900 人分の作品を一部屋に展示したため、当日人が入りにくかったことが反省

点である。11月の読書週間（4週間）では、貸出冊数を5冊から10冊に増やし、イベントとしてホワイトボードへの落書きコーナーを設置した。生徒には大変好評だった。

\*就実

- ・今年110周年を迎える。中高あわせて2,158名。生徒数増のため、始業式や終業式、体育会などは中・高別に行っている。男子は18%と数字的には低いですが、共学が次第に定着してきている。司書は昨年度まで2人体制だったが、今年度は1人で8時～18時までの開館に対応している。常にテーマ展示を充実させている。展示をすることで、自校の図書館にどんな本が足りないかが分かるし、生徒の反応も良い。また、図書館がいつも動いているというアピールにもつながる。

4. 協議事項・諸連絡（12:10～12:20）

(1) 次回開催校・内容／「プチ紹介」担当校

- ・期日……………平成27年3月（上旬ごろ）
- ・会場……………邑久高校
- ・テーマ……………場所に関する研修
- ・第5回担当校……………操山・城東・西大寺・興陽・烏城・御津・岡山・理大附・白陵・朝日塾
- ・「プチ紹介」担当校 ……東商・興陽・玉野商業

(2) 理事会より

- ・来年度の玉野大会は7/28（火）に決定→研修会なので半日（午後）開催

(3) ネットワーク研究委員会より

- ・特になし

(4) その他

- ・本日の各小グループでのパスファインダー（ワークシート）の展示

5. おすすめ本の紹介（13:20～13:50） ※美作支部との合同研修

- ・「司書や生徒に役立つ著作権の新しい本」、フリーテーマ  
→各小グループでおすすめ本を紹介する。
- ・次回おすすめ本決定 → 今年のベスト小説・フリーテーマ

6. 閉会

☆合同研修会（講演会）（14:00～16:00）

講演「学べる・読める学校図書館をつくる」清教学園学校図書館リブラリア館長 片岡則夫